

576万円についての反対討論。

結論「開校後は三条市からの持ち出しは一切ございません」「口は出すが金は出さない、金は出せない」の高等教育機関に対する約束とスタンスを守っていただきたい。

反対理由を2点申し述べる。

1点目、三条市は市立大学の学生も対象にした奨学金制度を既に設けている。市立大学の学生のみを対象にした奨学金制度は公平性、公明性の観点から問題があると考ええる。

2点目、住まいも格安に提供する。地域内の学生は入学金を半額にする。給付型の奨学金もある。などなど、まさに「上げ膳据え膳」のインセンティブである。入学生確保のためにHPに掲載することのだが、三条市が設定する市内からの入学者が占める割合の目標値が4割であるにもかかわらず昨年度は2割を切るありさまであり、当局の焦りがありありと感じ取れる。運営は「公立大学法人」に任せているのだから法人に主体性を持って取り組んでいただいたらいかがか。そして三条市の行為は「越権行為」にも当たるのではないか。以上の理由から議第16号に反対する。



免許証を返納した年に無料配布されるおまけパス

不登校児童生徒の居場所やSOSの受け止め体制について

Q 子どもが長期に休まざるを得なくなった場合の居場所はどうか。

A 市の適応指導教室に通級できる。フリースクール、親の会も案内している。

Q 子どもの権利侵害の救済、相談を行う第三者機関を設置すべきではないか。

A 子ども・若者総合サポートシステムで権利擁護に関し具体的に対応し取り組んでいる。意識啓発も進めたい。



岡田竜一議員の質問

土木行政について

Q 国道403号三条北バイパスは、来年度どこまで工事が進む見通しか。

A バイパス全区間の残り、すなわち「県

一般質問

12月定例会 一般質問ダイジェスト!



坂井良永議員の質問

地球温暖化対策

Q 三条市地球温暖化対策実行計画の二酸化炭素排出量削減目標はかなり低い。再生可能エネルギーが必要となるが、家庭向け太陽光パネル設置への支援についてどう考えるか。

A 再生可能エネルギーの利用促進を図ってきた。削減目標については環境審議会で審議している。太陽光パネル設置支援については個人の資産への補助であり慎重な検討を要する。



かんきょう庵の太陽光パネル

道塚野目代官島線」までの区間は済生会新潟県中央基幹病院の開院、つまり令和5年度末を見据えながら早期供用開始に向けて着実に進めると県から聞いている。

Q 都市計画道路新保裏館線の延伸についての取り組みの状況はどうか。

A 当該道路の延伸、いわゆる北工区は、国道403号三条北バイパスや国道289号バイパスに接続する重要路線である。さまざまな理由から、新保裏館線の延伸整備に向けて最終的検討段階に入っている。



三條市役所庁舎より撮影
都市計画道路新保裏館線

Q 市内建設業者の維持育成について、中小企業振興の観点から一般競争入札の見直しを含め所見を伺う。

A 今まで以上に市内業者育成、確保の観点に重きを置き、総合的な検討に入っている。

Q 2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを表明すべきだ。

A 市民生活や産業界へ及ぼす影響が大きい。宣言ありきでなく具体的に何を行うかが大切だ。実施すべきか検討を進めていく。

農業施策

Q 農業の担い手を地元で育成すべきだ。園芸作物の導入に向けた支援を行なってほしい。

A 大豆加工食品を農協や菓子業の皆さんと研究開発し販売してはどうか。

A 実践者が主体的に取り組むことが重要だが研究したい。

中小業者支援

Q 無利子・無担保融資の返済が一部で始まった。市は利子について支援を始めたが元金も支援すべきだ。

A 金融機関が条件変更も柔軟に対応している。国も借り換え融資を創設する。

感染症対策

Q 新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時進行が危惧される。対策



竹山嘉一議員の質問

郊外の既存道路を活用した外環道整備について

Q 深刻な三条の渋滞対策として、中心市街地に用事のない車を逃げさせる郊外の環状道路「三条外環道」を整備すべきではと考えるが、市長の見解を伺う。

A 県中央基幹病院への救急搬送路構築は、病院所在地の自治体の責務。一層の交通量分散が重要で、指摘の外環道の整備も検討を進める。



©Google 地図データ
青色矢印は国道403号三条北バイパス、赤線は既存道路を活用した外環道案

体育文化会館の安全管理について

Q 令和4年11月に行われたニシカワバンドのコンサートで、排煙設備ボタンが誤って押され、気圧差が生じ

A 基本的予防策について周知し対策は進んでいる。



武藤元美議員の質問

市民の生活や移動を支える公共交通について

Q 三条市の高齢化率は33%。高齢者の足の確保、免許返納後の移動手段が喫緊の課題だ。現状はどうなっているか。

A 免許証返納者へは、デマンド交通おでかけバスを返納年だけ無料としている。今後、バス待合の環境整備を含め、デジタルサイネージも検討したい。

Q 県中央基幹病院開院後の通院手段、公共交通の整備が必要ではないか。

A 公共交通は、重要な課題だと認識。即時に最適な配車を行うデマンド交通の導入を検討したい。

Q 基幹病院までは、30kmを超える地域もあり、デマンドタクシーで、1人乗車だと片道3000円以上かかる。支援できないか。

A デマンド交通の利便性を上げると、タクシー事業を圧迫してしまう。デマンド交通の課題整理をしていきたい。

て扉が開かず外に出られなくなった。本場に火災の際を考えると、会場内から排煙設備を停止するボタンも必要ではないか。

A 火災の際には会場外へ逃げる人がいるため扉はすぐに開けられる。気圧差で扉が開かなくなることは想定していない。

労働人材の育成と確保について

Q 県中央工業高校では、市内企業から多くの求人があるが、生徒数の減少で、紹介できない企業もあるとのことだ。この需給ギャップをどう考えているか伺う。

A 就職を希望する生徒にはなるべく市内企業を選択してもらえよう、三条市未来経済協創タスクフォースで出された意見も踏まえて取り組んでいきたい。



岡本康佑議員の質問

発達障がいやその他の障がいへの対応について

Q サポステは卒業年次の1月から利用が通例と聞けるが、本来なら就職活動が一段落する時期だ。少し